



ETO01 取扱説明書

この度は EVERTUNE 搭載ギターをお買い上げ頂きまして誠に有難う御座います。

本製品は「サドル張力」と「弦張力」のバランスを一定に保つシステムによって、いかなる使用状況下においてもチューニング・ピッチの狂いを完全に解消する画期的なブリッジで御座います。

ギタープレイにおいて最も気を遣うであろう「チューニングの狂い」から解放される事でプレイヤーの持つポテンシャルを120%発揮して頂けます。

エバーチューンを初めてお使い頂く場合は必ず同梱の「取り扱い説明書」をお読み頂いた上でお願い致します。

説明書をお読み頂いた上で万が一ご不明な点やご質問がある場合はお手数で御座いますがオフィシャルサイト「evertune.com/setupfaq (英文)」にて詳細をご確認頂くかお客様サポート「info@aliensoundworks.com」までお問合せ下さい。

エバーチューンとは？

EVERTUNE BRIDGE はバッテリーを使用せず、また、メンテナンスフリーのシステムを有しておりますがその見た目はギター全体のイメージを損ねる事無く極めてシンプルなデザインとなっております。

本製品を適正な方法で一度セットアップさえすれば温度の変化・ネックの動き・押弦の強さ並びにそれを起因とする弦のブレ（バンド等）、またピッキングスタイルやその強弱の違い他によるピッチの不安定感やチューニングの狂いを完全に解消し、果ては弦を切ったりベグを動かしてもチューニングへの影響は皆無に等しく、あらゆる現場・環境で最高のコンディションにてお使い頂けます。

STEP 1 各サドルのセットアップ

EVERTUNE BRIDGE はその機能をお使い頂くにあたり「各サドルのセットアップ」が必要となります。（※搭載されたギターをご購入の場合は工場出荷時の弦に合わせてセットアップ済となります。）

EVERTUNE BRIDGE には弦張力の状態によって「バックストップゾーン」「スイートスポットゾーン（アクティブゾーン）」「バンドストップゾーン」と呼ぶ三段階のスポットが存在し、セットアップの下準備として

EVERTUNE BRIDGE の機構が動作する第二段階「スイートスポットゾーン（アクティブゾーン）」の範囲内に各弦の張力を設定する必要があります。

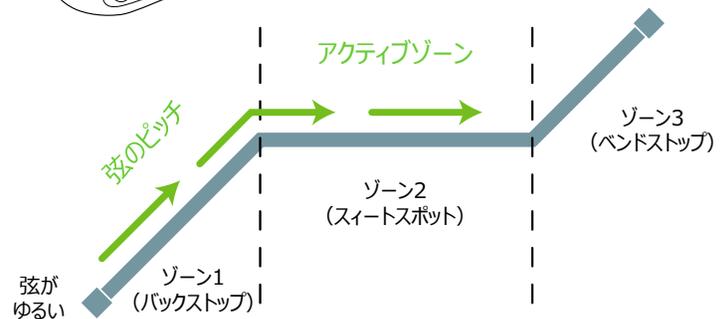
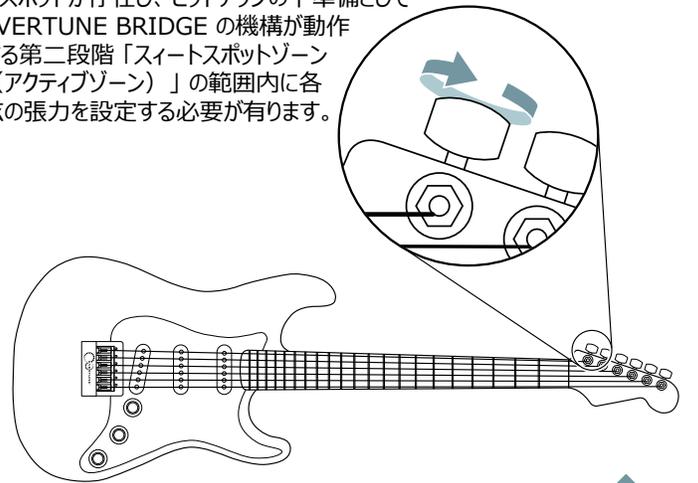


図1

まず、弦を完全に緩めた後にベグを巻いて行きます、すると初め音程は上がって行きますが（バックストップゾーン）「既定の張力に達した時点」でベグを巻いても音程が上がらなくなり、更にベグを巻き続ける事で弦張力が規定ラインを超えると再び音程が上がり始めます。

この音程が変わらない既定の張力範囲が「スイートスポットゾーン（アクティブゾーン）」であり、再び音程が上がりはじめる張力ポイント以降を「バンドストップゾーン」と呼びます。

EVERTUNE BRIDGE は弦の張力が「スイートスポットゾーン（アクティブゾーン）」内に設定されている場合のみ機能致しますので、初めに各弦全ての張力をこの「スイートスポットゾーン（アクティブゾーン）」に合せて下さい。

スイートスポットゾーンとブリッジの詳細情報は <http://www.evertune.com/setupfaq>でもご確認頂けます。



STEP 2 チューニング

チューニングは「STEP1」のスイートスポットゾーン（アクティブゾーン）設定を行った後に行ってください。※詳細 STEP1 参照
 チューニングの際はペグではなく「エバーチューン・キー」もしくは「2.5mmの六角レンチ」をサドル後部に取り付けられたチューニング用ネジに挿し回転させます。

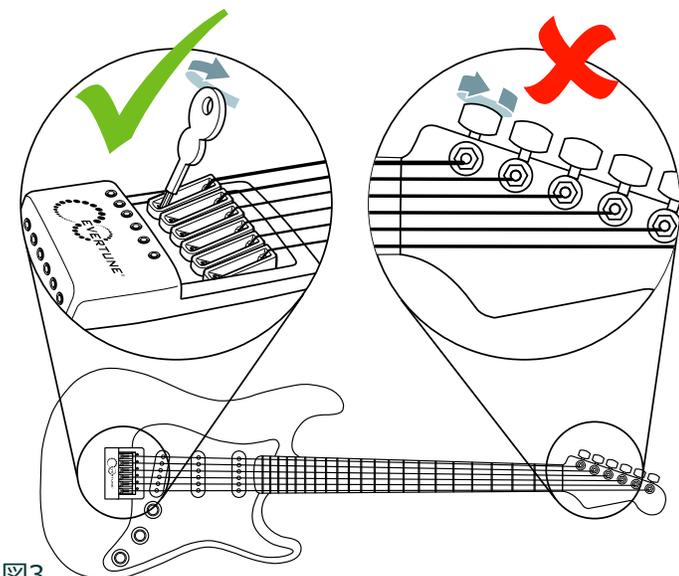
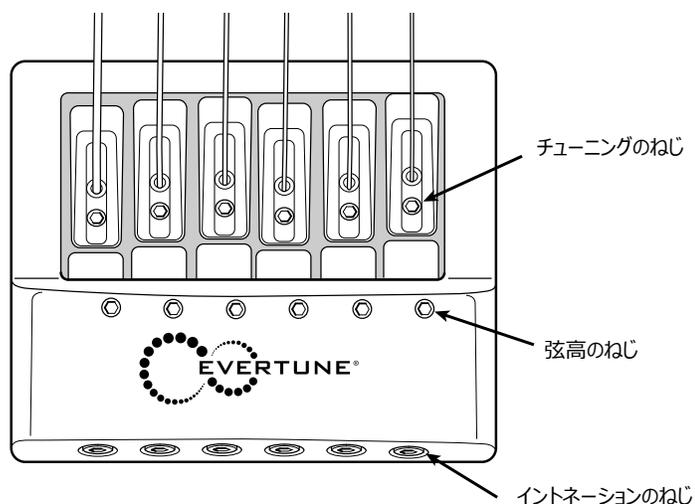


図3

回転方向は時計回りで音程が上がり、反時計回りで音程を下げる事が可能です。

【注意】

・エバーチューン搭載ギターのチューニングは専用の「エバーチューン・キー」もしくは「2.5mmの六角レンチ」を使用しブリッジにて行います、通常のギターとは異なりペグは弦張力を既定の張力範囲である「スイートスポットゾーン（アクティブゾーン）」に設定する為だけの使用となりますのでご注意ください（図2）。



・チューニングを確認する際はその都度「エバーチューン・キー」または「2.5mmの六角レンチ」を取り外してから行って下さい（図2）。

・各ネジの位置をご確認頂いた上で適切な調整をお願い致します、誤った調整等を起因とする故障・破損に関しましては補償対象外となりますのでご注意ください（図3）。

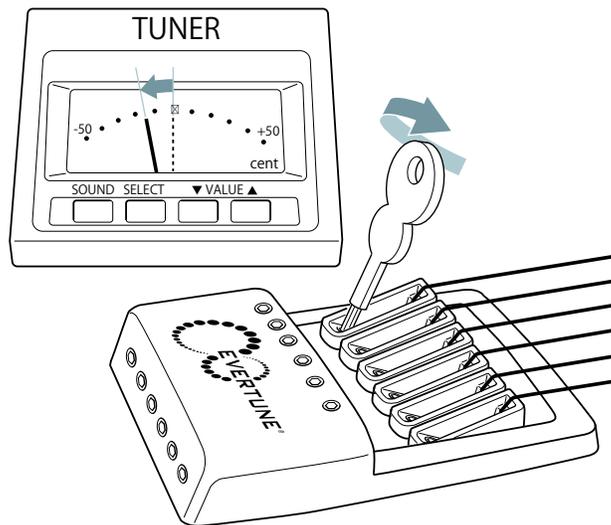


図4

・チューニングネジを180度回転させると音程が15 \uparrow 動きます（図4）。
 （ブリッジの詳細情報は<http://www.evertune.com/setupfaq>でもご確認ください。）

STEP 3 自動補正セッティング

「STEP1」「STEP2」が完了すると本製品の特徴的な機構であるチューニングの「自動補正セッティング」の調整が可能となります。

「STEP2」でチューニング調整済の状態から「STEP1」で解説済の「バンドストップゾーン（音程が上がり始める張力）」までペグを巻き上げます。

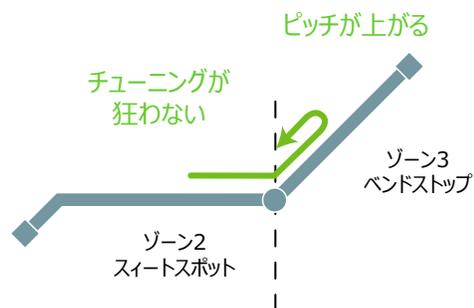


図5

音程が上がり始める「スイートスポットゾーン（アクティブゾーン）」と「バンドストップゾーン」の境界であるポイントを「トランジションポイント」と呼び、一度「バンドストップゾーン」まで張力を高めた時点で手を止め、ブリッジでは無くペグを使用し「音程を下げる方向」で正しいチューニングへ戻して下さい。

上記のように「トランジションポイント」でチューニングが合っている状態（図5）は EVERTUNE BRIDGE「自動補正最大感度」の状態であり、押弦時の強弱やバンド（チョーキング）他、通常のギターと同じ演奏感となります。

その「トランジションポイント」でチューニングが合っている状態（図5）からペグ約一回転分弦張力を緩める（音程は変わりません）範囲が「スイートスポットゾーン（アクティブゾーン）」であり、EVERTUNE BRIDGEの機構を最大限にご活用頂けるゾーンとなります。

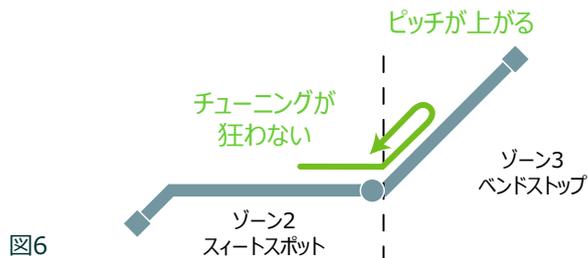


図6

大まかな目安としてはハードピッキングや押弦時の力が強いお客様の
場合「トランジションポイント」を基準に弦張力を緩める向きへベ
グ約1/8回転程度(図6)、レコーディング時のリズムギターやオーバ
ーダビング、マルチトラックと言ったチューニングのズレを完全に
排除したい場合は一回転前後緩めて「スイートスポットゾーン(アク
ティブゾーン)」の中間付近に自動補正をセッティングして下さい(図7)
、1/8回転前後であれば「自動補正感度」は早くバンド(チョーキング含
む)も通常のブリッジとほぼ変わらない使用感でお使い頂けます。

そして、設定が「スイートスポットゾーン(アクティブゾーン)」の中間
付近に近づくにつれてバンド(チョーキング含む)が効かなくなって
行き、中間付近では一切のバンド(チョーキング含む)が排除されま
す。

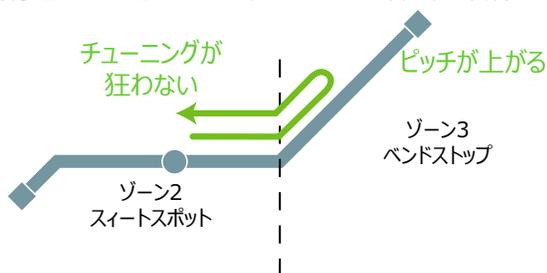


図7

このように基準である「トランジションポイント」から緩める張力の
度合で使い方や演奏の癖に合った微調整を行い「ご自身のスイート
スポットゾーン(アクティブゾーン)」を設定して下さい。(自動補正セ
ッティングの詳細情報は<http://www.evertune.com/setupfaq>でもご
確認頂けます。)

STEP 4 オクターブ調整

「STEP3」までの調整が終了後にオクターブ調整を行って下さい、調整
はイントネーションネジ(図3)を回転させる事で可能です。

付属の「エバーチューン・キー」または「2.5mmの六角レンチ」を使用し
各サドルのイントネーションネジを回します、時計回りでサドルが後
ろへ下がり、反時計回りでサドルは前に出ます(図8)。

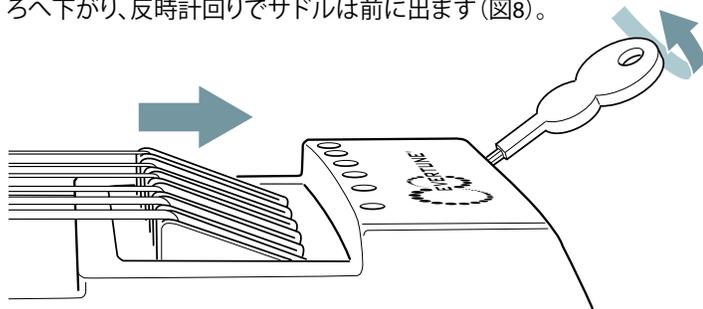


図8

12フレットのハーモニクスに対して同じ12フレットの実音程が低い場合はサ
ドルを前へ動かし、逆に高い場合はサドルを後ろへ動かしてハーモニクスと実音
の音程が同じになるよう全ての弦を調整して下さい。

EVERTUNE BRIDGE の特徴として一部例外を除きオクターブ調整による
チューニングの狂いが無い為、手軽にオクターブ調整を行えます。

また、オクターブ調整時にサドルを後ろへ下げる場合、イントネーションネジ二
回転につきベグを半周程度緩めてから行うと作業がし易くなります。(オク
ターブ調整の詳細情報は<http://www.evertune.com/setupfaq>でもご
確認頂けます。)

[注意]

・基本サドルの前後調整(オクターブ調整)によるチューニングの狂いは御座
いませんが、セットアップ開始時のサドル位置やギターの構造によってはサドル
の可変幅が大きくなり、オクターブ調整により「スイートスポットゾーン(アク
ティブゾーン)」を設定が外れてしまう場合が御座いますので、その際は再度
「STEP1」からやり直して下さい。

STEP 5 弦高調整

「STEP4」まで調整が終了後に弦高い調整を行って下さい、調整は弦高調
整ネジ(図3)を回転させる事で可能です。

付属の「エバーチューン・キー」または「2.5mmの六角レンチ」を使用し各サ
ドルの弦高調整ネジを回します、時計回りでサドルが上がり、反時計回りでサ
ドルは下がります(図9)。

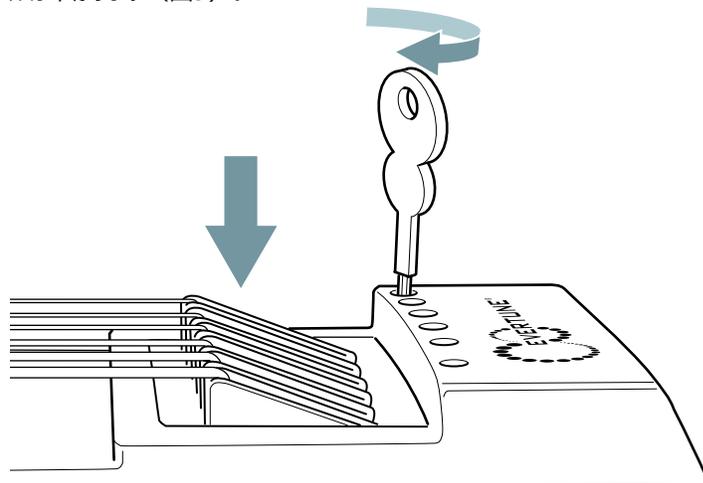


図9

EVERTUNE BRIDGE の特徴として一部例外を除き弦高調整によるチュ
ーニングの狂いが無い為、手軽に弦高調整が可能です。(弦高調整の詳細
情報は<http://www.evertune.com/setupfaq>でもご確認頂けます。
)

[注意]

・基本サドルの高さ調整(弦高調整)によるチューニングの狂いは御座いま
せんが、セットアップ開始時のサドル位置やギターの構造によってはサドルの可
変幅が大きくなり、弦高調整により「スイートスポットゾーン(アク
ティブゾーン)」を設定が外れてしまう場合が御座いますので、その際は再度
「STEP1」からやり直して下さい。

弦交換（同一弦）

弦交換は通常のギターと同じ手順で可能です、ボディ裏側にあるブリッジの穴へ弦を入れサドルへと通して下さい（図10）。

あとはいつも通りペグポストへ弦を巻き付けチューニングすれば終了です。

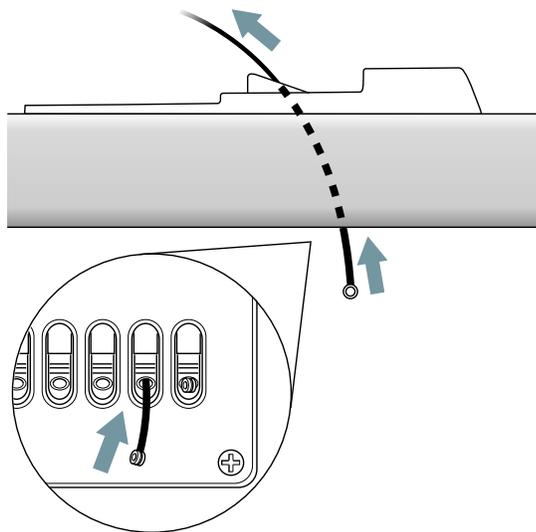


図10

[注意]

・同一弦においても生産過程により微妙な差異が御座いますので弦交換時には再調整（STEP1 から STEP4 まで）をお奨め致します。

弦交換（メーカー・ゲージ・材質・チューニング変更時）

EVERTUNE BRIDGEの張力対応範囲は4.5kgから12.6kgまでとなります、これはレギュラーチューニング時で換算するとおおよそ1弦0.09セットから1弦0.12セットまでとなりますので、前記ゲージよりも張力が「強い」または「弱い」弦の使用をご希望のお客様は EVERTUNE BRIDGE CUSTOMIZE PARTS でご用意しております専用サドルへの交換が必要となります。

弦交換時に「メーカー・ゲージ・材質・チューニング変更」の有る場合は STEP1 から STEP4 までの再セットアップが必須となります。（調整の詳細情報は <http://www.evertune.com/setupfaq> でもご確認ください。

[注意]

・大幅なゲージやチューニングの変更をする場合はサドルでのチューニング稼働幅を大きく上回る事が御座います、サドルネジが回らなくなった際は稼働幅オーバーとなりますので無理にネジを回すと破損に繋がります、その場合は補償対象外となりますのでご注意ください（図11）。

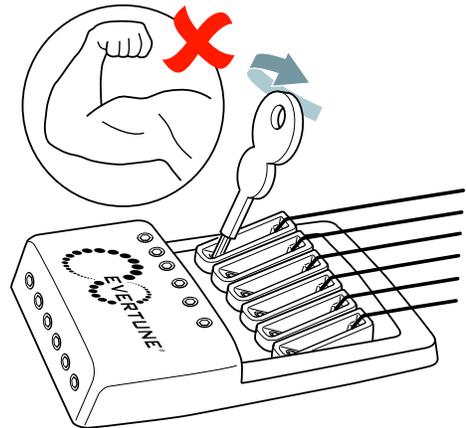


図11

・万が一サドル稼働幅をオーバーした際はサドルではなく STEP1 から手順に沿って正しいセットアップを行って下さい。（調整が出来ない場合は info@aliensoundworks.com までお問合せ下さい。）

チューニングのチェック

EVERTUNE BRIDGE は一度セットアップを行えば基本的に次回の弦交換時までチューニングをチェックする必要は御座いません、稀に弦の劣化（錆び他）により若干の狂いが生ずる事も考えられますが使用時に軽くチェックして頂くだけで充分です。

詳細情報

より詳しい情報に関しましては随時アップデートしております。
<http://www.evertune.com/setupfaq> にてご確認ください。

またお使い頂く中でご不明な点やご質問等が御座いましたらお気軽に info@aliensoundworks.com までお問合せ下さい。

チューニングの狂わない夢のブリッジ EVERTUNE BRIDGE SYSTEM を存分にご堪能頂ければ幸いです。

E-MAIL : info@aliensoundworks.com
住所 : 〒113-0034東京都文京区湯島2-23-4TAKEフラット1F
OFFICIAL SITE : <http://www.evertune.com/>



DISTRIBUTED BY

